



2023年5月期 第1四半期決算説明資料  
(2022年6月1日～2022年8月31日)

2022年10月11日

**小津産業株式会社**

証券コード7487



1. 2023年5月期 第1四半期決算概要	2
2. 2023年5月期 業績見通し	8
3. 参考資料	14



# 1. 2023年5月期 第1四半期決算概要



## 業績のポイント

- 除染関連分野において大きな販売実績がなかったこと、マスク需要の減退等から前年同期に比べ、減収となった。
- 営業活動の強化等に戦略的に予算を充当したこと、物流コストの上昇等から、前年同期に比べ、減益となった。

(百万円)	22/5期		23/5期		前年同期比
	1Q実績	構成比	1Q実績	構成比	増減額
売上高	2,739	100.0%	2,671	100.0%	△68
売上総利益	875	31.9%	803	30.0%	△71
販売費及び一般管理費	623	22.7%	648	24.2%	25
営業利益	251	9.1%	154	5.7%	△97
経常利益	292	10.6%	223	8.3%	△68
親会社株主に帰属する 四半期純利益	252	9.2%	151	5.6%	△101



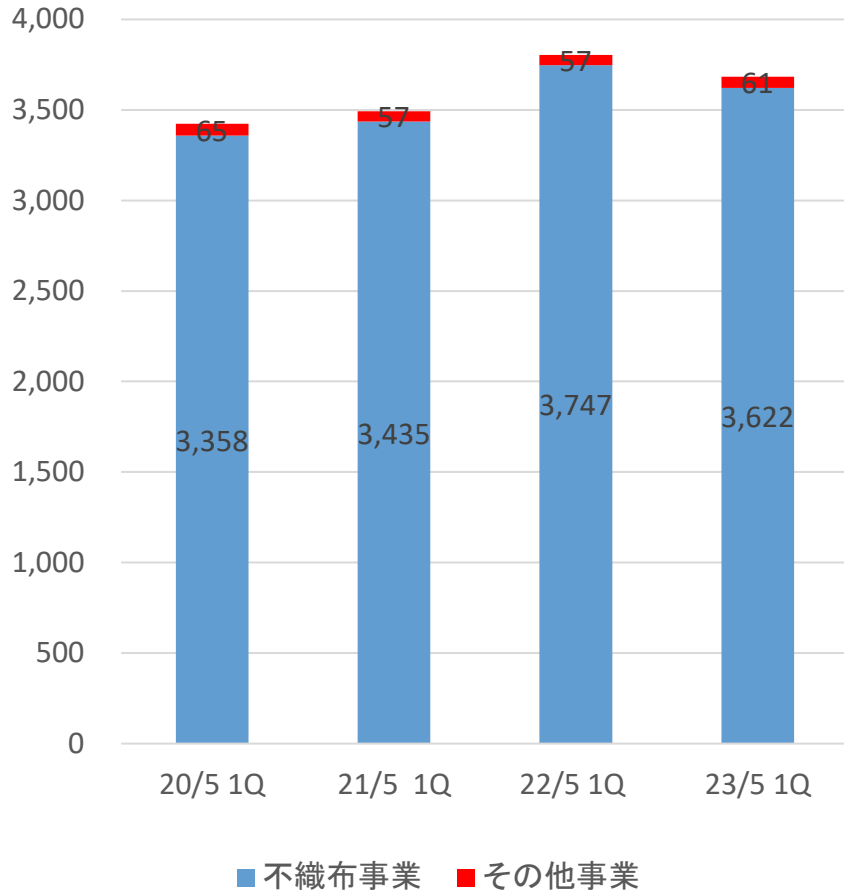
## 各事業の主要動向

不織布事業(分野)	主要動向
エレクトロニクス分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業機器関連、通信機器関連の需要が堅調推移。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症に関する規制緩和により、東南アジアの工場稼働率は回復傾向。前年同期比売上高は横ばい、利益面は増加。</li> </ul>
メディカル分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症対策の衛生材料は堅調推移。</li> <li>・マスク需要の減少により、前年同期比売上高は微減、利益面は減少。</li> </ul>
コスメティック分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内販売、東アジア市場向け販売ともに減少。前年同期比売上高、利益面とも減少。</li> </ul>
除染関連分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きな販売実績なく、前年同期比売上高、利益面とも減少。</li> </ul>
小津(上海)貿易有限公司	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工場稼働率の回復等により、エレクトロニクス分野および、エレクトロニクス分野以外とも需要は堅調推移。前年同期比売上高、利益面とも増加。</li> </ul>
ディプロ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大による需要増からの反動減より徐々に回復傾向を示すものの、原材料価格の高騰の影響を受け、前年同期比売上高は増加、利益面は微減。</li> </ul>
日本プラントシーダー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海外販売は復調するものの、国内販売が低調。前年同期比売上高、利益面とも減少。</li> </ul>

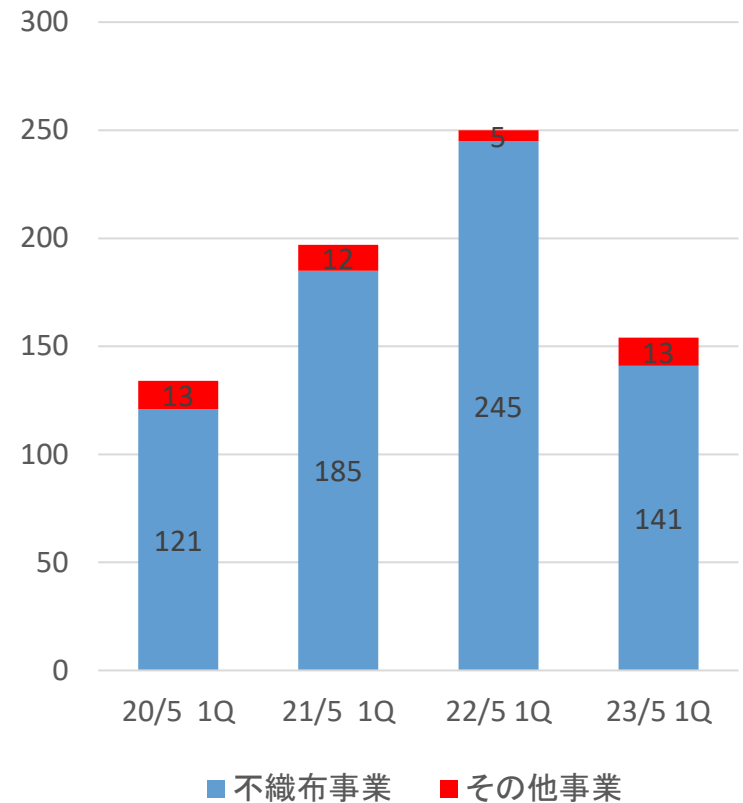


## 不織布事業+その他事業の業績推移

### セグメント売上高



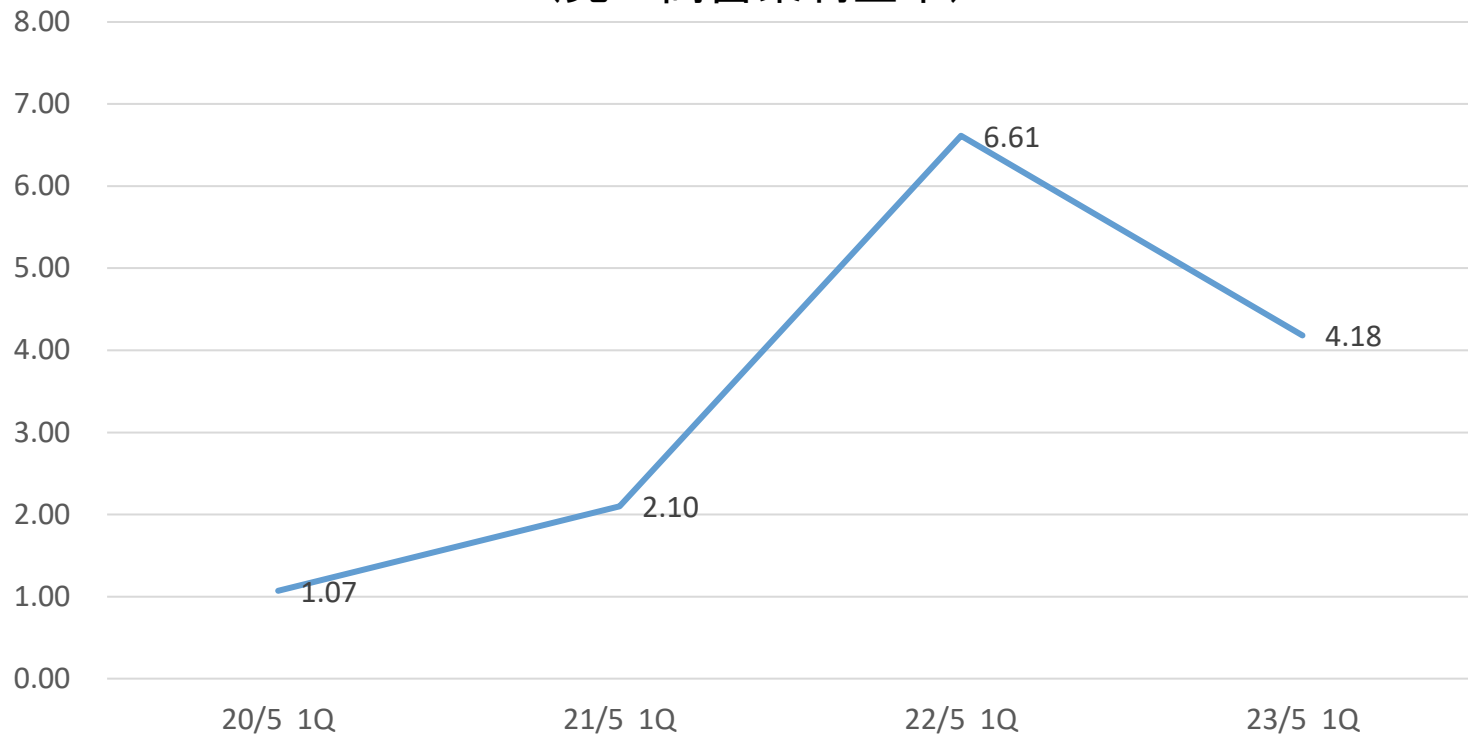
### セグメント利益



※会計基準の変更による影響を除外するため、22/5期1Qおよび、23/5期1Qの売上高は旧会計基準を適用。

## 経営指標の推移

### ROS(売上高営業利益率)



※ROSの算出にあたっては、会計基準の変更による影響を除外するため、22年5月期1Qおよび、23年5月期1Qの売上高は旧会計基準を適用。

■ 収益力の一層の強化により、ROSの向上を目指す。

# 2023年5月期 第1四半期連結貸借対照表



(百万円)	22/5期 5月末	23/5期 5月末	増減額
流動資産	12,183	12,480	296
固定資産	10,364	10,695	331
総資産	22,548	23,176	627
流動負債	3,565	3,802	236
固定負債	2,433	2,595	161
負債合計	5,999	6,397	398
純資産	16,549	16,778	228
自己資本 比率	73.3%	72.4%	△1.0%

## 主な増減要因

- 資産
  - 受取手形及び売掛金 +139
  - 投資有価証券 +382
  
- 負債
  - 支払手形及び買掛金 +213
  - 繰延税金負債 +160
  
- 純資産
  - その他有価証券評価差額金 +264





## 2. 2023年5月期 業績見通し



## 業績予想概略

除染布は、次の導入に向けた準備期間に入り、販売が見込めないこと、2023年5月期の取組み骨子推進のための予算化を行ったこと等により減収・減益見込み。

売上高:10,300百万円 前年比▲254百万円

- 除染布要因に加え、国内外経済の減速懸念、マスク需要の減退懸念等から減収の見込み。

営業利益:500百万円 前年比▲104百万円

- 2023年5月期の取組み骨子推進のため、営業活動の強化、海外展開の取組み強化、新事業の探索、新製品の開発等に予算を充当。

販売費及び一般管理費:前年比+205百万円

(百万円)	22/5期		23/5期		前期比
	実績	構成比	予想	構成比	増減額
売上高	10,554	100.0%	10,300	100.0%	△254
営業利益	604	5.7%	500	4.8%	△104
経常利益	707	6.7%	540	5.2%	△167
親会社株主に帰属する 当期純利益	557	5.3%	370	3.6%	△187



## 2023年5月期 取組み骨子

### ■ 製造機能の拡充

小津グループが目指す事業像の根幹。  
高付加価値製品の開発、拡販。生産性向上を推進。

### ■ 外部環境変化への迅速な対応

原材料価格、物流コストの高騰等、先行き不透明感が増すなか、収益確保に向け、迅速かつ的確な対応を推進。

### ■ 新製品・新商品の開発、新規事業の探索

次世代の核となる事業の構築を目指し、取組みを加速。

## 各事業の具体的な取組み事項

不織布事業(分野)	具体的な取組み施策
エレクトロニクス分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・需要増が期待できる通信機器関連、車載用電子部品、再生医療分野等での拡販。</li> <li>・海外展開の強化による新規販売先の開拓。</li> </ul>
メディカル分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商品ラインナップの拡充による売上増強と新規販売先の開拓。</li> </ul>
コスメティック分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ディプロの製造機能も活用した新規販売先の開拓、新商品の創造。</li> </ul>
除染関連分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電力会社等への提案活動の強化。産学連携による用途開発の推進。</li> </ul>
ディプロ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自社ブランド商品「ケアウィル」の拡販。高機能商品(機能薬剤・コスメ等)の開発推進。生産効率の一層の向上。</li> </ul>
日本プラントシーダー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シーダーテープ対象作物の拡大と拡販。拠点の統廃合による営業戦力の再配置と合理化の推進。</li> </ul>

その他事業	具体的な取組み施策
除菌関連事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品殺菌用途等としての 過酢酸製剤の販売促進活動の強化・推進。</li> </ul>



(百万円)	業績予想	1Q実績	進捗率
売上高	10,300	2,671	25.9%
営業利益	500	154	30.8%
経常利益	540	223	41.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	370	151	40.8%

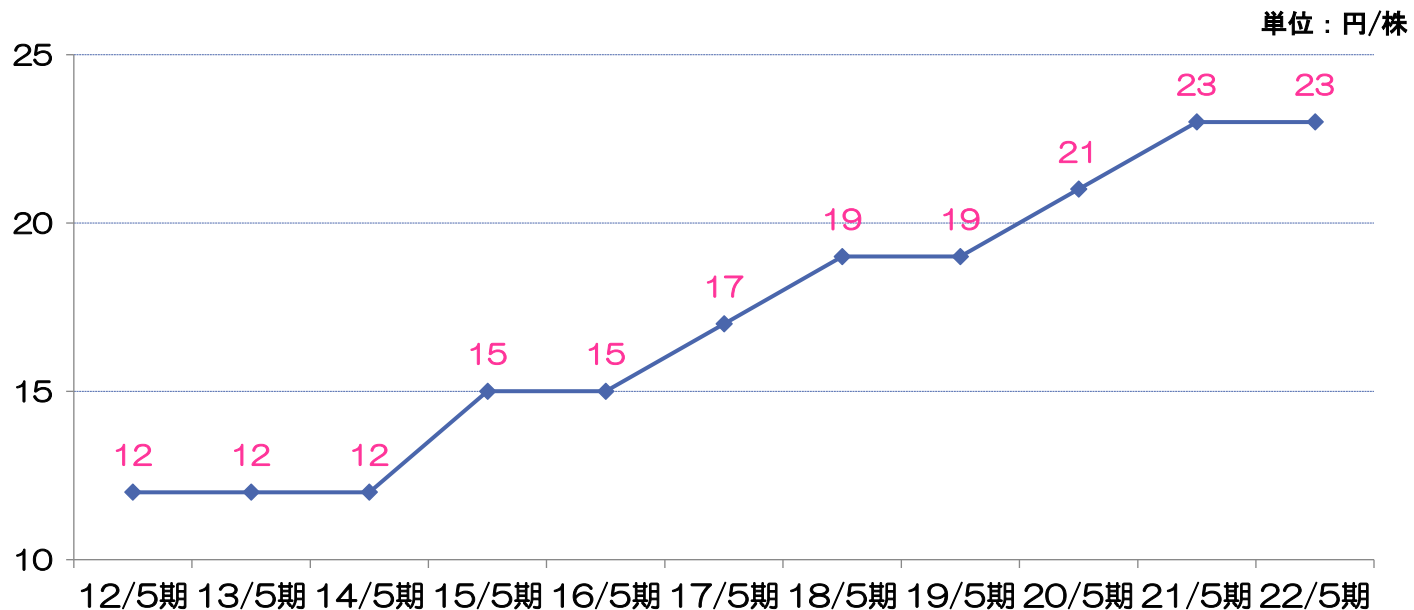
## 株主還元方針

株主さまに対して、長期的に安定した利益還元を行うことを基本方針としつつ、合わせて当社グループの企業体質の強化と将来の事業展開に備えた内部留保の充実を総合的に勘案し、株主還元を行います。

業績拡大・収益力向上によって得られる利益については、上記の株主還元方針を踏まえつつ、還元の拡大を検討してまいります。

現時点においては、2022年5月期と同様の、一株あたり23円の配当を予定しております。

### 【配当金推移】





### 3. 參考資料

# 小津グループ概要

- 1653年(承応2年)創業の和紙問屋を起源とする「紙と不織布」の製造商社。
- 現在では、エレクトロニクス・クリーン分野、メディカル分野、コスメティック分野、コンシューマー分野などを展開。
- 機能性不織布製品の企画開発から製造・販売までをメインとした幅広いサービスを提供。

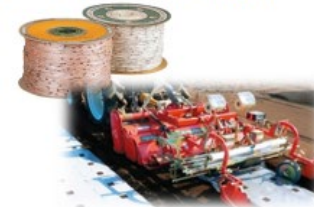
過酢酸系の除菌剤販売  
(除菌・殺菌)



ENVIROTECH

エンビロテック  
ジャパン(株)

アグリ分野  
(シーダテープ製造販売)



日本プラント  
シーダー(株)

小津グループ

オツテクノ(株)  
・  
(株)旭小津

(株)ディプロ  
・パンレックス  
(株)

小津産業(株)



不織布、紙製品の加工

不織布、  
紙製品の販売

消毒・除菌WET、  
フェイシャルシート等の製造販売







## ■ 企業理念

「伝統とは継続的な開拓の歴史」との認識のもと、お客さまの満足や喜びを第一に考えた新しい付加価値を提案し、豊かな暮らしと文化に貢献します。

## ■ 小津グループが中長期的に目指す事業像

製造商社機能の高度化、新規事業の創出、事業ポートフォリオ変革により、「**価値創造企業**」への飛躍を目指します。

## ■ 3カ年計画である中期経営計画2024 :

「紙と不織布」の技術力を基盤に、製造機能を拡充した商社として収益性の更なる向上を達成します。



# 小津産業会社概要

会社名	小津産業株式会社
本社所在地	東京都中央区日本橋本町3-6-2
創業	1653年(承応2年)
設立	1939年(昭和14年)12月6日
資本金	13億2,221万円
証券コード	東証プライム 市場 7487
事業内容	不織布(エレクトロニクス用、メディカル用 コスメティック用、産業資材用) 洋紙・紙製品等の 国内販売・加工、輸出入
従業員数	連結:262名 単体:97名(2022年5月31日現在)

## 役員

代表取締役社長	今枝 英治
代表取締役副社長	河田 邦雄
取締役	村尾 茂
取締役	三崎 剛志
社外取締役	穴田 信次
社外取締役	山下 俊史
社外取締役	阿部 光伸
常勤監査役	稲葉 敏和
社外監査役	深山 徹
社外監査役	山本 千鶴子

## 関係会社

連結子会社	オヅテクノ(株) 日本プラントシーダー(株) (株)ディプロ 小津(上海)貿易有限公司 エンビロテックジャパン(株)
持分法適用関係会社	アズフィット(株) (株)旭小津



## 本資料に関するお問い合わせ

小津産業株式会社 経営企画室

Email : [soumu@ozu.co.jp](mailto:soumu@ozu.co.jp)

<https://www.ozu.co.jp/>

## 本資料の取り扱いについて

- ・本書には、当社グループに関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- ・別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- ・当社グループは、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- ・当社グループ以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。